

たからじま め がみ やま しんりんしょくぶつぐんらく
宝島女神山の森林植物群落

【所 在 地】鹿児島郡十島村大字宝島字女神

【種 別】国指定天然記念物（植物）

【指定年月日】平成24年6月8日



宝島女神山

宝島はトカラ列島南部にあり、ほぼ二等辺三角形で周囲 12.1 km 、面積 5.94 km^2 の島である。最高点はイマキラ岳の 291.9 m で、島の北西から南東にかけて直線的に稜線が伸び、山地の周囲に海岸段丘状の平地が、その外側には隆起サンゴ礁が発達している。

トカラ列島の多くの島には、メガミ、ネガミ、オガミと呼ばれる山があり、聖地とされている。これらは最高峰ではなく、集落近くにあって巫女が男達の航海安全を祈る森で、木々の伐採を厳しく禁じていた。宝島の北西端にある女神山（標高 130 m ）もその一つで、山麓部から山頂にかけて自然林が残されている。

標高約 60 m の山麓部は、大径木により構成されたタブノキ林が発達し、わずかにスダジイ林がみられる。中腹部にはビロウが優占するビロウ林、山頂部にウバメガシ林が明瞭に区分され、良好な状態で発達している。トカラ列島の希少な植物を含む代表的な自然林で、山頂部から山麓部までの森林の変化を示し、学術的に貴重なものである。